

2022年5月16日

報道関係者各位

日本歯磨工業会

2022年 歯と口の健康週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 濱 逸夫）では、歯と口の健康週間（6月4日～10日）に向けて例年どおり口腔衛生を呼びかける歯と口の健康啓発ポスターを制作し全国にお届けします。

本リリースでは、「歯と口の健康週間」に関連する取り組みと当工業会の活動についてご紹介します。

『歯と口の健康週間の沿革』

「歯と口の健康週間」は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として1928年6月4日に「むし歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが1949年から週間行事となりました。1952年には6月4日から10日までの1週間に定められ、1958年より「歯の衛生週間」として毎年実施、2013年より「歯と口の健康週間」として新たにスタートしました。

『2022年 歯と口の健康週間について』

目的：この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

標語：「いただきます 人生100年 歯と共に」

（大阪府大阪市立茨田中学校 3年 藤原ひより さん作）

重点目標：生きる力を支える歯科口腔保健の推進～生涯を通じた8020運動の新たな展開～

歯と口は国民が健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」を重点目標とする。

実施期間：2022年6月4日（土）～同年6月10日（金）まで

主催：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会

< 1 > 2022年 歯と口の健康啓発ポスターの配布

当工業会では、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』 厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会及び日本歯磨工業会

『デザイン』 アランジアロンゾ（B3サイズ 多色刷り）

『2022年 標語』 「いただきます 人生100年 歯と共に」

【日本学校歯科医会】が募集した小中学校の標語の中から大阪府大阪市立茨田中学校3年の藤原ひよりさんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」（厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標）

「一生、自分の歯で食べよう」（日本歯科医師会の標語）

「歯みがきで心と体を健やかに」（日本歯磨工業会のコンセプトメッセージ）

『配布』

ポスター26万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

『活用』

このポスターは、歯と口の健康週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いしています。「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしています。



2022年 歯と口の健康啓発ポスター

< 2 > ホームページからの情報発信について

「みがこうネット」では、新たなコンテンツの追加、情報の更新など、生活者のみなさまへ歯や歯みがきに関する情報を発信しています。また、「工業会サイト」では、歯磨出荷統計の掲載など工業会の活動の様子を適時伝えています。【 <https://www.hamigaki.gr.jp/> 】

1. 2021年の「みがこうネット」「工業会サイト」の閲覧者状況と人気コンテンツ

●閲覧者の状況

総アクセス数は34万件（前年比2万8千件増）、閲覧者は女性63%、男性37%で女性の構成比が前年から5%増、閲覧端末は、スマホなどモバイルが62%、PC35%、タブレット3%でモバイルの構成比が前年から3%増となっています。

●新コンテンツ「お口のセルフケアのコツ・親子編」の公開

日本歯磨工業会ビジョン実現に向けた施策の1つとして「オーラルセルフケアのアドバイザー」を目指し、日々のお口のケアのコツを簡潔に楽しく発信していく取り組みを2019年から開始。第1弾「ビジネスパーソン編」、2020年の第2弾「シニア編」に続き、2021年は「親子編」を公開。妊婦、乳幼児、幼児、小学生、中学生の年代別にお口のケアのコツを抜粋して紹介をわかりやすく紹介しています。



●人気コンテンツの状況

- ・ パパ・ママ・キッズ歯育て講座：妊婦さんや0才～6才のこどもの歯みがき方法を伝授
- ・ お口のセルフケアのコツ：いつもの歯と口のケアにひと工夫してお口から健康になるコツを伝授
- ・ 歯みがき電話：歯をみがき始めたお子さまが喜んで歯みがきするようになるお楽しみコンテンツ
- ・ がんばれ！みがく君：サラリーマンのみがく君が繰り広げる熱血ドタバタ歯みがきアニメ

2. 「みがこうネット」の2022年コンテンツ制作・更新予定

(1) 歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施

①歯と口の健康週間企画「新コンセプトメッセージキャンペーン」(4月～6月)

「歯みがきで心と体を健やかに」をテーマとするイラスト募集・穴埋めクイズを実施。

②第11回「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」(8月～10月)

(2) 歯みがき啓発情報サイト「みがこうネット」リニューアル(11月実施予定)

お口のセルフケアに関する豊富なコンテンツを探しやすく、画面サイズに応じて見やすく改訂。

(3) 各コンテンツの企画案

- ・ はみがき学級 はみがきカレンダー (年4回更新)
- ・ がんばれ！みがく君 (年2回更新)
- ・ メールマガジンの継続発行 (キャンペーン開始・新コンテンツの告知)

3. 歯と口の健康週間企画

●日本歯磨工業会 新コンセプトメッセージ浸透キャンペーン

昨年に続き、日本歯磨工業会が2021年に策定した新コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の趣旨を広く啓発することで、歯と口の健康への関心を高めます。4月1日～6月30日に実施し、昨年の応募総数8,651件を上回る参加者の獲得を目指します。

A賞：「歯みがきで〇〇〇を健やかに」の空欄に答えると抽選で100名様に500円の図書カードを進呈

B賞：新コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の文字に色や飾りをつけた作品を募集し、コンセプトにあった素敵な作品を表彰。日本歯磨工業会会長賞10万円、優秀賞5万円×3名、キッズ優秀賞(5千円の図書券3名)、佳作(オーラルケアセット5千円分×10名)

< 3 > 啓発冊子の配布

オーラルセルフケアの重要性や効果的なケア方法を解説する冊子を適宜改訂しながら配布しています。

- 保健指導者向け「お口のセルフケアハンドブック 歯みがきで心と体を健やかに」(B5版31ページ)
全身の健康維持増進に関わる口腔保健の重要性や、歯磨剤の働き、効果的な歯みがき方法などの内容に、オーラルフレイルや大人むし歯の予防、歯間清掃などの情報を充実化させています。
- 歯科専門家向け「歯磨剤の科学」(B5版、データ図表多用)
口腔保健剤の歯磨剤の基本的機能、薬用歯磨剤の効果、安全性、セルフケアなどを解説しています。

< 4 > 日本歯磨工業会の最近の主な活動のご紹介

- 地球環境問題への取り組み
2022年4月1日に施行された「プラスチック資源循環法」への対応として、ハミガキチューブ、洗口液ボトル、ハブラシについて、石油由来プラスチック使用量の削減、使用済みプラスチックの資源循環に寄与する製品・パッケージの環境配慮設計ガイドラインについて関連業界各社での議論を開始しています。2022年末までに業界としてのガイドラインを経産省に提出すべく検討中です。
- 歯科衛生士養成校、歯科衛生士会等での特別授業(講演)開催
日本歯磨工業会では技術委員会が中心となり、歯みがきに関する正しい情報を提供することを目的に、1993年から毎年、歯科衛生士養成校および歯科衛生士会へ専任講師や技術委員を派遣して特別授業、講演会を開催しています。2021年の開催回数は35件、本年も積極的に活動します。

■日本歯磨工業会について

国民の口腔衛生の普及・向上に寄与するとともに、健康産業として歯磨及び関連業界の発展を図ることを目的とした団体で、行政官庁、関連業界、消費者団体等との情報交換、歯磨剤に関する情報提供、口腔衛生に関する健康啓発情報の発信を行っています。例えば、「歯と口の健康週間」に協力し、歯磨剤を通じての口腔衛生の普及・向上を図るキャンペーンを行っているほか、ISOなどの国際会議に積極的に参加し、歯磨剤等の国際規格作成にも協力しています。1971年6月に設立、会員14社、賛助会員14社が参加し、業務委員会、広報委員会、広告委員会、技術委員会、薬事委員会で活動しています。

本件のお問い合わせ先： 日本歯磨工業会 清原 隆生 TEL 03(3249)2511

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 三報ビル7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <https://www.hamigaki.gr.jp/>

2022年「歯と口の健康週間」にあたって

日本歯磨工業会 会長
濱 逸夫

「歯と口の健康週間」が今年も6月4日から10日まで、全国的に展開されます。本週間の目的は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民の皆様に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図ることにあります。

当工業会において、「歯と口の健康週間」は、たいへん重要な位置づけであり、従来から、その意義と目的を周知するため、官民一体となった広報活動を展開してまいりました。今年も例年通り、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会等と協力して「歯と口の健康啓発ポスター」の制作・配布を図ると共に、昨年につき、「新概念メッセージ浸透キャンペーン」など幅広く展開し、「歯と口の健康週間」の一層の盛り上げを図ってまいります。

さて、2020年の日本人の平均寿命は、男性が81.6歳、女性は87.7歳と、いずれも過去最高を更新しています。しかし、平均寿命と健康寿命の差は依然として大きい状況です。健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することは、健康長寿社会を実現するための国の課題でもあります。厚生労働省が提唱する健康日本21では、「歯と口腔の健康」分野における、う触予防と歯周病予防による健康寿命の延伸が分野目標として設定されています。

これを受け、当工業会においても、「歯と口の健康を通じて、人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献する」ことを使命と定め、「オーラルセルフケアの頼れるパートナー」としての啓発活動を進めております。昨年

の設立 50 周年の記念事業では、新コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」を策定しました。歯の健康だけでなく、歯を含めたお口全体の健康に意識を高めることにより、「お口からの全身健康への貢献」という大きなコンセプトへの国民意識の啓発を目指しております。

なお、当工業会で取り纏めた出荷統計によりますと、2021年（令和3年）の歯磨類全体の出荷金額は1,553億円となりました。2012年に1,000億円の大台に乗り、2007年から14年連続で前年実績を上回り、過去最高の出荷金額となり、堅調な成長を遂げております。

このことは、近年の新型コロナウイルス感染症の拡大などによる国民の健康意識の一層の高まり、即ち、お口の健康が「全身の健康」を保つ上でとても重要であることが、徐々に認識され、いつまでも元気で楽しく人生を過ごしていきたい、というニーズが高まっているとともに、当工業会及び会員各社による啓発活動が少なからず影響している結果だと考えております。

今後も国民の皆様の健康づくりに繋がる生活者の行動変容に貢献し続けていくことが、当工業会に課された社会的使命であると捉えています。乳幼児期から高齢期迄のすべてのライフステージにおける口腔衛生の普及に努め、日常生活の中により良い習慣として浸透させていくことが、全身疾患の予防につながり、国民の健康増進・健康寿命の延伸に貢献するものと考えております。

皆様方には格別のご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。